

平成30年度 第3回健康福祉審議会 議事録

日 時：平成31年3月7日（木） 14：00～15：30

場 所：別館3階 302会議室

出席者：15名中12名

委員定数の過半数に達しているので会議は成立していることを報告する。

1. 開会

2. 議題

- (1) 健康福祉審議会の平成31年度の新たな取り組みと計画策定の方向性について
- (2) 健康福祉審議会各分科会の平成31年度の新たな取り組み等について
- (3) 「かがいのち支える推進プラン」（最終案）について
- (4) その他

以下、審議事項の説明は、別紙資料のとおりとし、質疑のみの記載とする。

質疑事項

- (1) 健康福祉審議会の平成31年度の新たな取り組みと計画策定の方向性について

沼田委員

アンケートの内容につきましては、本当に分かりやすく改定されている。

それから、1ページの下のカラ一部分の地域福祉計画と関連諸計画との関連性について、例えば地域の福祉課題に地域で取り組む仕組みづくりの子どもと家族などの4本立てと、左側の両方の矢印の左側というのは1対1に個応するものではないですよ。高齢者お達者プランは多分高齢者家族、障がいのある人のサポートプランは障がいのある人と家族、子ども・子育て支援事業計画は子供と家族、「健康応援プラン21」というのは、どのようにここにリンクするかあるいは生活にお困りの方に対する具体的なアクションプランは、具体的には書けないというようなことと解してよいのか。

平井課長

若干、分かりづらいかと思うが、左側については、それぞれの地域福祉課題に個応するという形ではなく、それぞれの分科会の計画を書いている。右側は地域福祉課題について、主なものを書かせていただいた。検討していく主なものということで理解していただければと思っている。

沼田委員

本当にきちんと作成されており、「福祉こころまちプラン2020」は上位計画として、分科

会の計画をすべて取りまとめ、福祉課題については、地域で取り組むものであり、そこを行政と地域が協働してということでは、アクションプラン的にどのようにカバーするかということになる。感想としてあげさせていただいた。

平井課長

確かにそういうシステム、という視点もあり、課題として考えていきたいと考えている。

(2) 健康福祉審議会各分科会の平成31年度の新たな取り組み等について

村上委員

まず、高齢者分科会について質問させていただきたい。3番目の高齢者の移動手段確保に向けたモデル事業に関して、この個人ボランティアに関してはこれは有償なのか、無償なのか。

山下課長

有償でと考えている。

村上委員

有償ボランティアで行う。有償ボランティアと一般的な就労の違いとは何か、事故が起きた時に一般就労だと労災の適用になると思うが、有償ボランティアだと、その辺がグレーになるのではという懸念があります。それを含めて事故あるいは保険の適用に関して、どのように対策を取られるのか伺う。

山下課長

現状では、今のモデル事業やっている中ではNPOの輸送の中だと考えており、そちらの保険というふうには考えている。もう一つのボランティア有償とはいえども頂くお金は実費相当というふうに考えており、普通のボランティア保険など、社会福祉協議会で扱う保険も確か該当になったと思っているので、いずれかの保険でというふうに考えている。

村上委員

もう一つ障がい者分科会のスマートインクルージョンの推進でスマートホーム事業について、これは非常に大事な取り組みであると思うがこの見守りシステムに関しては、人権あるいは人的な配慮要するにプライバシーの問題が考えられると思うがその点の配慮はどのような点を考えているのか。

渡部課長

平成31年度事業に関してはベッドセンサーシステムの実証を考えており、市内の障がい者の方にも協力いただく予定である。もちろん本人やそのご家族の方等の了解を得てやっていくという方法で考えている。将来的に実用に当たって色々と検討すべきこともあると考えられるが、来年度に関しては、あくまで実証というレベルでのことをとを考えている。

村上委員

障がいというものはもう少し広く、法的な観点も含めて対応しなければならないと思っている。

山村委員

健康分科会のこころの健康づくり事業の中学生対象のストレスの対処方法についてであるが、我々の子どもの頃とは全然違い、今中学生の SNS、スマホの普及が、中学校行ったらもう 7 割 8 割を超えている。中学生でとにかく家帰ると SNS から離れられないラインのグループに入ったらもう出られないというストレスを抱えている子どももかなりいる。その辺の対応について、どのようなにしたらよいか。

北口課長

実はこの SNS に関する質問やご意見が各分科会の方にもいただいているような状況がある。そのようなチェック機能をどのように持たせるかというのはおそらく、一つの自治体だけで取り組むという形の難しさと法的な部分も踏まえた展開が必要ではないかと考えている。教育委員会と連携していく内容でもあり、保護者の意見を聞きながら、自殺対策基本計画の推進の中で、展開できるかが今後の課題となってくると考えている。

久藤委員

子ども分科会の保育園等給食費無料化事業について、2019 年 10 月からの幼児教育無償化が開始されるが、認可外保育園は対象としているか。認可外保育園の企業内保育園について全然無償化になっていないので、教示いただきたい。

奥村課長

食材費の実費化については、従来の幼稚園と保育園が保育教育の中に入っているものが実費化ということで認識しており、認可外保育園につきましては保育料の無償化の対象になっているが食材費については、内容を確認し、対応を検討させていただき報告させていただく。

(3)「かが いのち支える推進プラン」(最終案)について

高川部長

この自殺対策については、当初にも報告させていただいたとおり各分野子ども、障がい、高齢、健康の各分野の方から審議いただいた結果を今日こちらの最終案として出させていただいた。市の方としてはこれが最初の自殺の方の計画となる。当初ということで抜けている点不足している点まだあろうかと思うが、現時点で使えるものとして皆さんに審議いただいているつもりである。今後 6 年間の計画となっておりますが、見直しを含めまして今後の健康福祉審議会福祉こころまちプランの中でも、検討をしていきたく必要に応じてコメントをいただければと考えている。

上野委員

全体的なことではあるが、“向う三軒両隣”前にも多分言ったと思うがそのことばが全然入っていない。

やはり近所付き合いの大切さが絶対必要であり、いろいろなものにも繋がってくると思うの

でその辺りを考慮していただければありがたい。自殺にしても子どもを育てるということにしても近所付き合いは大切だろうと思う。自殺対策において、やはりいろいろな相談の機会が身近にあればなお対応しやすいのではないかと考えており、子どもの教育にしてもなるべく大勢で取り組んだ方がよいのではとと思っている。

今家族を構成する人数が本当に少なく、兄弟も1人か2人で兄弟喧嘩もしていない子ども達が親になるということで、例えば私は6人兄弟で育っており当然喧嘩もし、喧嘩をすればいろいろなことを学ぶことができる。結果で今人生を送っているんですけども、何かこういろいろな体験が少ないのではないかとと思っている。例えば小学生は、1クラスもしくは2クラスのみという現状であり、もう少しクラスが多くなるように出生率を上げる取組みなど課題の発生があると思っている。そういう中で色々な体験をさせていくことにより、この自殺も多少は減少するだろうと思っている。いろいろなことで近所付き合いというものは基本ではないかと自分では思っている。

平井課長

上野委員の発言のとおり、地域で昔からよく言う“向こう三軒両隣”地域力といってもよいと思っている。それが希薄化してきていることも現実であり、福祉こころまちプランの中にも書かせていただいております、本市の基本計画においても事業を積み上げていくことにより醸成するものであり、当然こういうものは地域の方々を含め様々な機関と団体の見守りというものも当然入ってくると思われ、今後のパブリックコメントとか一般の方からのご意見を伺いながら、できるだけここの部分で反映して行きたいと考えている。

宮永委員

38ページの主要事業ゲートキーパー講座（かもまる講座）についてであるが、高齢者等の見守りで気になったことは民生委員の方にお知らせすると前回教えていただいた。ゲートキーパーというのは民生委員とか違う立場なのか。ボランティアで新しい用語であり、このような役割があるんだと思っているが、市民の方々は「ゲートキーパーって何だろう？」というようによく分からないと思う。

北口課長

ゲートキーパーについての説明は、資料24ページに、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を図ることができる人のことを命の門番、いわゆるゲートキーパーという形で位置づけする人ということで、国が使っている名称を市としても計画の中にことばとして反映させた。10年程前からゲートキーパー養成講座を、職員の出前講座として取り組んでいるがまだまだ市民に浸透していない。来年度からは計画的に進めて行きたい。市の職員向けや専門職のような福祉や医療に携わっている方に向けたもの、あと民生委員児童委員、保健推進委員など地域で活動している方々や広く市民の方にも参加してもらおう形で進めていくことを考えている。先日3月5日に市の医療センターの主催で専門職向けのゲートキーパー養成講座を実施し、80名の受講者があったと聞いている。市の主催だけではなく、いろいろな形で今後広げて行きたい。

宮永委員

今年初めて、公募委員となり、2回審議会に参加させていただいた。2月28日に、県立中央病院に友達が骨折により入院しており、見舞いに行ったとき、ドクターヘリによる搬送があり、加賀市からの搬送で、詳細は分からないが自殺らしいと聞いて驚いた。

加賀市で自殺が多いから本対策計画を策定したのか、特に実態を示してほしいというわけではないが、対策をしっかりと進めていただきたいと思う。

北口課長

この自殺対策計画に関しては、国の方の自殺対策基本法の改正に基づき全ての自治体の本計画を策定することになっており、来年度からスタートすることとしている。

本市の実態としては、計画書の9ページに掲載。小さい自治体であり、年度によって変動があるが、石川県や南加賀地区と比べると高い年がある。まだまだ自殺が少ない地域とは言えない中、地域の皆様の力を借りながら推進できたらと考えている。

平井課長

先程上野委員の“地域の見守り力”“地域力”確かに“向う三軒両隣”という単語は掲載されていないが、この計画案の48ページに基本目標の3“大切ないのちを守り、つなげる連携”ということで、“地域における支えあい等の推進”という文書になっている。その中で市民それぞれが自分の周りに居る自殺を考えている人の存在に気づき声掛けということで、“市民の地域を支える力を生かすことで自殺を防ぐ地域づくりを進める”という表現をしている。向う三軒両隣という単語については今後また検討をさせていただきたいと思っているが、文面に入っていると理解していただければ幸いである。

上野委員

なるべく見たらすぐにわかるような形態が一番ベストかなと思う。それが災害時において減災に繋がると思う。

上出会長

あとから答申案でさせていただくが、今上野委員の言われた“向う三軒両隣”“近所付き合い”が大切であるということをもう少し追加する、ということをし添えて、答申をさせていただくということでご了解いただけるか。

上野委員

はい。

沼田委員

自殺対策に関しては、どうやって基本計画策定するんだろうと思うくらい、非常に多要因で全庁的な取り組みであったと思う。これを拝見させていただき、頭がまとまるようによく作成されているという感想を持った。私も行政にいてどうしても主要事業とか関連事業を書きたくなくなるが、多分咀嚼の段階ではないかと思っている。自殺対策は本当に難しいと思い、第一段階としてはよくまとめられてきたのではないかなと思う。次を楽しみにしている。

村上委員

今地域の連携の話があったと思うが、他方で専門職の連携もとても大事になってくると思うが、今回の指標の中でこちらの方の指標がないと思うので、これは別途従来と違う提供する側の連携に関しては何か考えているのか。

北口課長

指標に関しては主に対市民に関連する項目を中心に掲載した。国の計画策定の手引書の指標を挙げている。専門職の連携は、自殺対策庁内外連絡会という会議の場を設置しており、47ページにケース会議等について記載している。主要事業として庁内外自殺対策連絡会で確認していく。現段階では専門職の連携に関する指標までは、設定はしていない。

村上委員

なるほど。その点について少し追加して質問させていただきたいが、おそらく今様々な分野で連携の重要性というのはいわれていると思う。ここにも書いてあるように地域包括ケアシステム庁内横断ワーキングなど、こうなってくると連携が大きくなっていく。会議自体が大きくなってしまえば負担が増えてしまう可能性もあるので、きちんと体制が取れないという、そうするともうちょっと大きな枠組みで連携の体制を作った方が有効なのかなと考えるが。

北口課長

47ページ主要事業の各種関連会議等々ここで記載があるだけでも10個の会議、庁内のものから庁内外のものも含めてという形になっている。村上委員の発言によるところも含めフラッシュアップできる会議等はまた見直しをかけて行きたい。ただそれぞれ主目的を持ったものであり、その重なる部分とそれぞれの目的を整理して行くということが大事と考えている。

久藤委員

49ページの下から2つ目のグラフの中にSOSの出し方に関する教育というところで、ここに棒が引いてあるこのハイフオンはゼロという意味なのか。

北口課長

これについては、31年度からスタートする事業ということで現在教育の方は実施していないためハイフオンの記載としている。

北七補佐

本計画のアンケート作成に当たり委員の皆さまにはご審議いただいたことにお礼申し上げます。先程も伝えさせていただいたが、この計画書案は本日16時から市長へ答申させていただきます。3月11日からパブリックコメントの募集を庁舎内、庁舎外、支所と出張所併せて10箇所と加賀市ホームページでお知らせし募集をさせていただきますという予定をしています。

上出会長

以上で本日の会議を終了したいと思う。会議の進行につき、委員にみなさまに大変ご協力をいただいたことに御礼申し上げます。